

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和6年度第4回松阪市安全・安心施策推進協議会
2. 開 催 日 時	令和7年1月16日(木) 18時30分~19時40分
3. 開 催 場 所	松阪市産業振興センター 2階人材育成講座室・情報資料室
4. 出席者氏名	《出席委員》 山川良樹、瀬田佳代、林勝、田所桂、村田学、田島浩、新益美、花澤正美、塩谷明美、井川東、久米徹、大西可奈子、長井俊明、角谷忠夫、中尾悟、山路克文(オブザーバー) 《事務局》 大野千賀子(地域安全対策課長)、角谷信夫(地域安全課長補佐)、松本幸和(交通安全対策係長)、近藤久芳(生活安全係長)
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0人
7. 担 当	松阪市環境生活部地域安全対策課 TEL 0598-53-4074 FAX 0598-22-1057 e-mail anz.div@city.matsusaka.mie.jp

- 事 項 1. 全員協議・分科会副会長の選任について
2. 分科会

議 事 録：別紙

令和6年度 第4回 松阪市安全・安心施策推進協議会
《会議録》

日 時 : 令和7年1月16日(木) 18:30~19:50
場 所 : 松阪市産業振興センター 2階人材育成講座室・情報資料室
出席委員 : 水谷勝美、瀬田佳代、林勝、田所桂、村田学、田島浩、新益美、花澤正美、
小林正則、塩谷明美、井川東、久米徹、井村彰、平岡直人、長井俊明、角谷忠夫、
大辻結花、西川俊朗、山路克文(オブザーバー)

欠席委員 : 山川良樹、中尾悟、大西可奈子
事務局 : 大野千賀子(地域安全対策課長)、角谷信夫(地域安全課長補佐)、
松本幸和(交通安全対策係長)、近藤久芳(生活安全係長)
※敬称略

1. 2階人材育成講座室にて協議

2. 交通安全対策分科会を2階人材育成講座室・防犯対策分科会を2階情報資料室にて実施
※防犯対策分科会での内容は、裏面参照。

3. 次回委員会は、未定。令和7年2月中を予定。後日連絡することに。

防犯対策分科会・協議内容

○前回の提案以降の修正部分の説明

・5-2(2) 課題⑥の記述について

第三期では件数が記載されていたが、前回協議会での意見で「高校生の件数が把握できないか？」ということがありましたので、事務局から県教育委員会に問い合わせたところ、【松阪市内の高校】としてのデータは無く、また市教育委員会に小中学校分の問い合わせをしたところ、誹謗中傷被害としての件数把握はしていないとのこと。

⇒件数の表記を無くすことについて再度協議した結果、増加する可能性が実際高いことから、事務局提案の表記で問題ないとの意見をいただく。

(教育関係者からも意見を頂戴し、事務局提案に賛同していただきました。)

- ・令和6年の刑法犯認知件数や特殊詐欺被害件数・金額は、1月下旬に松阪警察署から情報提供予定・松阪市市民意識調査のデータは2月には市役所担当部署から情報提供予定なので、第5回の最終協議会までにデータを差し換えることで了承を得ました。

交通安全対策分科会・協議内容

○計画内容について（取組課題、行動計画の指標、具体的な行動）

事務局より、安全で安心なまちづくりの推進に関する行動計画（第三期）と同（第四期）（案）の対照表を元に説明。また、前回会議で意見があり修正した部分を説明。

【意見、指摘等】

委員：右1ページ目、10万人あたりに換算した交通事故死者数のワースト順位であるので、その文言等の追加を検討してほしい。

事務：文言追加を検討します。

委員：右3ページ目、交通事故概要のミニカーという表現、こどものミニカーを連想してしまうので、誤解がない表現にしてみてもどうか？

事務：警察に確認して、文言変更を検討いたします。

委員：赤字の意味は高齢者であっていますか？確実にわかるようにしてはどうか。

事務：左側部分は交通弱者が赤字、右側部分は高齢者（65歳以上）が赤字です、分かりやすいように文言追加を検討します。

委員：このページ、高齢者の状態の表が来て、高齢者に絞った交通弱者の説明文

が来て、そのすぐ後にシートベルトの説明文が来ているが、シートベルトは一般も含めた全体数なので、分かりにくい。注釈をつける、順番を入れ替えるなどしてはどうか。

事務：分かりやすいように変更します。

委員：右6ページ目、交通マナーが悪いという項目、数値上は段々と改善されてきているように見えるが、ものさしが難しい。他の市から見たらどうかとか、他の市も同じような内容があればまだ比較できるとか。そもそも交通マナーが悪いことに皆が慣れてしまっていたら、交通マナーが悪くても悪いと思わなくなるので、比率が下がるかもしれない。

委員：右11ページ目、①主な取組の高齢ドライバーの運転操作能力の向上とあるが、向上は変に思う。見直しとか把握とかに変更してみてもどうか？同じく、高齢者への夜光反射材着用・・・とあるが、「高齢者への」を「高齢者の」とした方が良いのではないか。

事務：検討いたします。

委員：②概要で高齢ドライバードラレコ運転診断を行います。となっており行うと言い切っているが、旧計画では高齢ドライバードラレコ運転診断により自己の運転操作の見直しを図るとあるので、記載方法の確認を。

事務：確認いたします。

委員：免許返納ができない理由は車がないと日常生活に困るから（例えば買い物も車がないとできないとか）。そういった理由に市が対応してほしい。免許返納も強制的というよりは自主的にできるような働きかけをしてほしい。計画倒れになりかねない。事業を実施するときターゲットや実施方法などをしっかり考えてほしい。しっかりどうしていくかの目的をもってほしい。

委員：この高齢ドライバードラレコ運転診断って、どんな人が受けているのでしょうか？周知方法をどうしているのか知らないですが、積極的に受けにくる人というよりも運転が不安だと思っている人や積極的に受けに来ないが免許返納を検討してもらわないといけない人とかにたどり着いているのでしょうか。

事務：広報、全戸回覧、HPとかで募集します。まずは積極的に受けに来ていただいている方から自身の運転操作の見直しや免許返納を考えるということを広めていきたいと思っておりますが、いただいた意見に対応できる良い方法があるのでしたら、ぜひ、ご教示いただければと思います。

委員：②概要の後段、夜光反射材の効果～交通事故防止に繋がります。の部分、一部重複しているように思うので精査を。

事務：検討いたします。